

品番 LGBZ6113K LGBZ6115K
LGBZ8113K LGBZ8115K



お客様へ このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。特に、ご使用前に「安全上のご注意」(1ページ)を必ずお読みください。

工事店様へ ■施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。この説明書は必ずお客様にお渡しください。■施工説明に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(下記は図記号の一例です。)

	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

警告

必ず守る

- 異常を感じた場合、速やかに電源を切る
異常状態が収まったことを確認し、販売店または別紙お客様相談窓口にご相談ください。

分解禁止

- 器具を改造したり、部品交換をしない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

注意

必ず守る

- 照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。
点検・交換してください
点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。
- ◎1年に1回は「安全チェックシート」に基づき、自主点検してください。
- 下カバーは確実に取り付ける
落下してけがの原因となることがあります。
- 器具の取り外しは販売店、工事店に依頼する
器具の取り外しには資格が必要です。

接触禁止

- 点灯中や消灯直後はLEDやその周辺にさわらない
やけどの原因となることがあります。
- ◎お手入れは電源を切り、LEDやその周辺が冷めてから行ってください。
- 温度の高くなるものを器具の真下に置かない
火災の原因となることがあります。
- ◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。
- 下カバーを外した状態で点灯したLEDを長時間直視しない
目の痛みの原因となることがあります。

施工説明

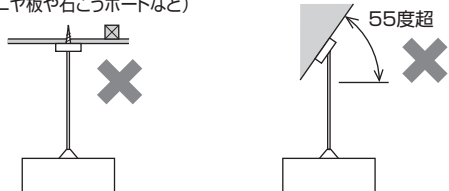
安全上のご注意

必ずお守りください

警告

■取付面

- 次のような場所には取り付けない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。
 - ・ 補強のない場所 (ベニヤ板や石こうボードなど)
 - ・ 55度を超える傾斜した場所



- ・ 55度以下の傾斜天井に取り付ける場合は器具表示の指定方向に取り付けてください。指定方向以外に取り付けた場合、火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

◎この器具は天井面吊り下げ専用です。

■壁スイッチ

- 調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する
火災のおそれがあります。



必ず守る



◎調光器の取り外しが必要です。

■その他

- 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行う
取り付けに不備があると火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。
- 交流100ボルトで使用する
過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。
- 電源線は端子台の差込み穴の奥まで確実に差し込む
差し込みが不完全な場合、火災、感電のおそれがあります。
- スペースと取付板は確実に取り付ける
木ネジの締め付けが不完全な場合、落下によるけがのおそれがあります。



必ず守る

注意



水ぬれ禁止

- 浴室など湿気の多い場所や屋外で使わない
火災、感電の原因となることがあります。

◎この器具は防湿、防雨型ではありません。



必ず守る

- 下カバーは確実に取り付ける
落下してけがの原因となることがあります。
- 器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用する
けがのおそれがあります。

各部のなまえと付属部品

施工する前にまず付属部品をご確認ください

- 器具の取り付けは、手袋など保護具を使用してください。

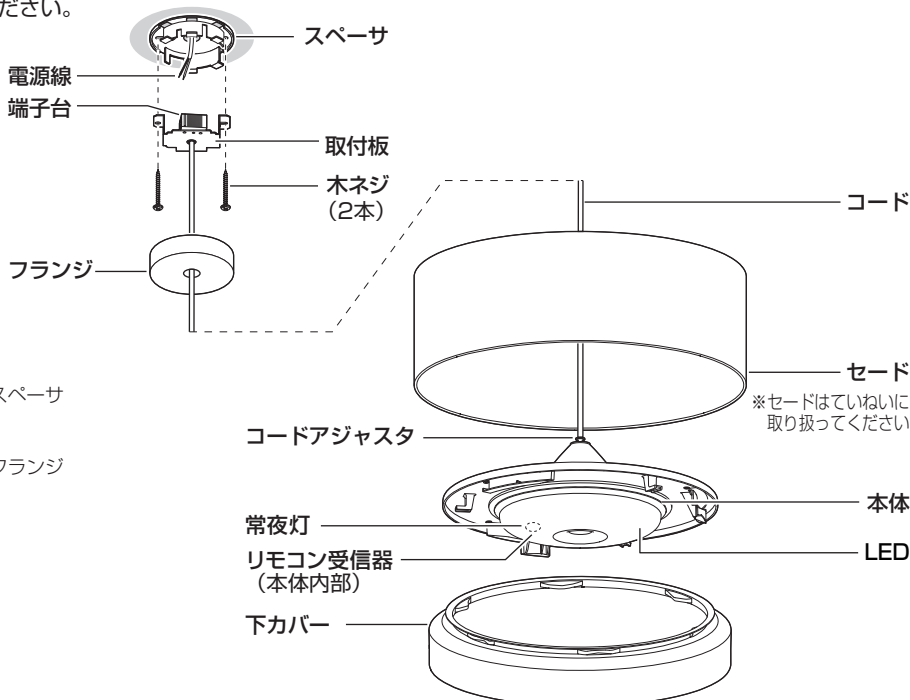
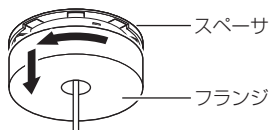
照明器具

施工前のご確認事項

- 必ず壁スイッチを設けてください。
 - ・ 点灯に異常が発生したとき、リセット操作に壁スイッチが必要です。
 - ・ 長期使用しないときや、お手入れの際に電源を切ることができます。
 - ・ リモコン送信器の電池が消耗した場合やリモコン送信器を紛失した場合に点灯消灯ができます。

取り付け前のご準備

- ・ フランジを左に回し、スペースからフランジを取り外してください。



※セードははいていないに取り扱ってください

器具取り付け用付属部品



リモコン付属部品 (必ずお客様にお渡しください)

リモコン(1個)

補修品番
HK9809MM

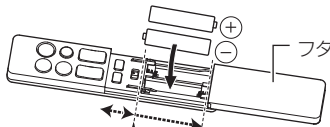
操作方法は、5~7ページ参照



単4形マンガン乾電池 (2本)

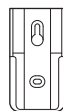


- リモコンのフタを開けて、単4形マンガン乾電池を2本入れる。



フタは、2度引くチャンネルボタンの下でいったん止まりますので、もう1度引いてください。

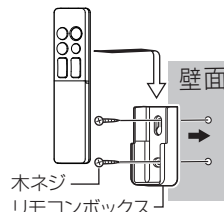
リモコンボックス (1個)



リモコンボックス用木ネジ (2本)



- リモコンボックスを使用して、紛失防止用に壁掛け収納できます。

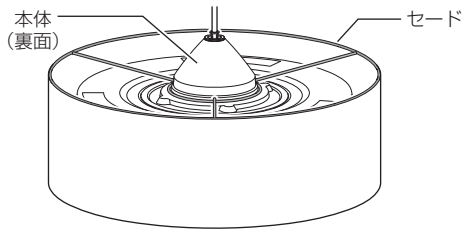


照明器具を取り付ける

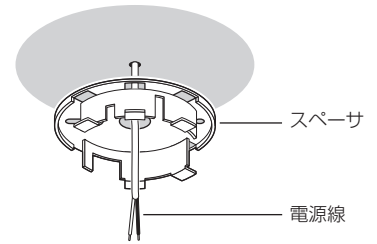
安全のため、電源を切ってから行ってください

◎必ず壁スイッチを設けてください。7ページ「ご使用上に関するお知らせ」参照

1 本体にセードをのせる



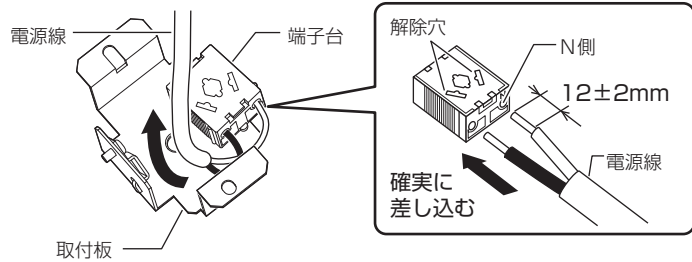
2 スペースに電源線を通す



3 端子台に電源線を接続する

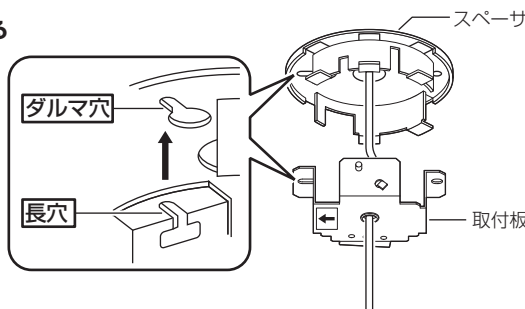
- ・適合電線 VVFφ1.6、φ2.0単線
- ・電源線差し込み後、取付板の中央にるように電源線を曲げてください。

器具の取り替え等で電源線を外す場合は、マイナスドライバー等を解除穴に差し込みながら電源線を引き抜く。

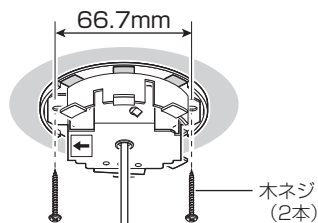


4 天井面にスペースと取付板を取り付ける

- ①スペースのダルマ穴と取付板の長穴を合わせる

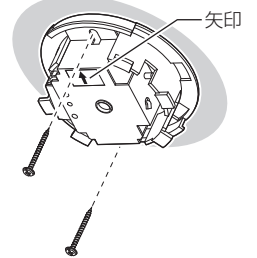


- ②付属の木ネジ (2本) でスペースと取付板を取り付ける



55度以下の傾斜天井に取り付ける場合

取付方向表示の矢印を天井の高い方に向けて取り付ける。



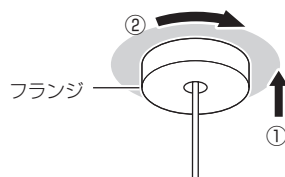
警告



- 55度以下の傾斜天井に取り付ける場合
器具表示の指定方向に取り付ける
指定方向以外に取り付けた場合、火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。
- スペースと取付板は確実に取り付ける
木ネジの締め付けが不完全な場合、落下によるけがのおそれがあります。

5 フランジを取り付ける

- ①天井面にフランジを押し上げる
- ②フランジを止まるまで軽く右に回す

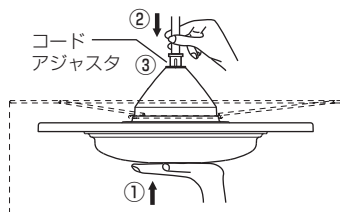


6 コードの長さを調節する

器具の高さを調節する場合は、下記手順でコードの長さを調節してください。

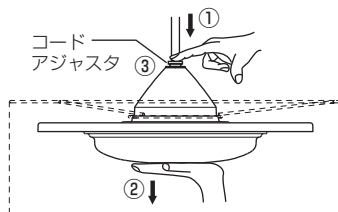
【短くする場合】

- ①本体を持ち上げながら
- ②本体内にコードを押し込む。
- ③調節後、コードアジャスタを引き上げてコードを固定する。

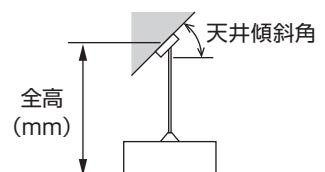


【長くする場合】

- ①コードアジャスタを押さえながら
- ②本体を引き下げる。
- ③調節後、コードアジャスタを引き上げてコードを固定する。



コード調節範囲



天井傾斜角45~55度：全高=1000以上
天井傾斜角30度：全高=700以上
水平天井の場合：全高=430~2000

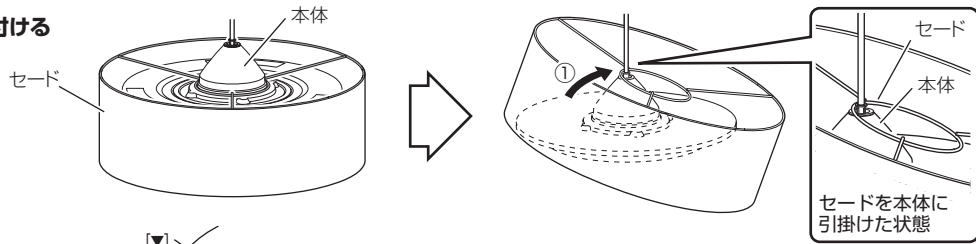
(次ページにつづく)

照明器具を取り付ける (つづき)

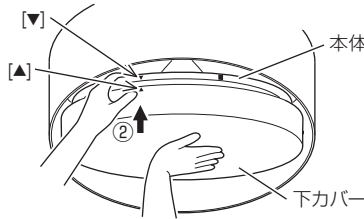
安全のため、電源を切ってから行ってください

7 本体到下カバーを取り付ける

① セードを本体に引掛ける

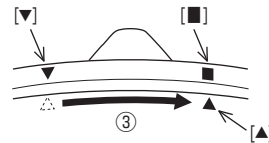


② 本体に手を添え、下カバーの▲印を本体の▼印に合わせる

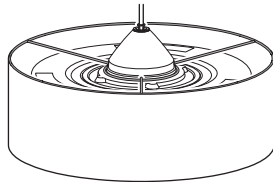


③ 下カバーを本体に押しあて ■印まで右に回す

・取り付け後、下カバーが上下に動きますが、取り付けに問題はありません。



④ セードを本体にのせる

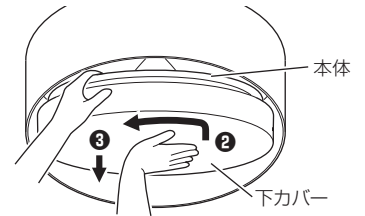


注意

! 下カバーは確実に取り付ける
落下してけがの原因となることがあります。

下カバーの外しかた

- ① セードを本体に引掛ける
☞ 左記手順①参照。
- ② 本体に手を添え、下カバーを持ち上げ止まるまで左に回す
- ③ 下カバーを支えながら外す



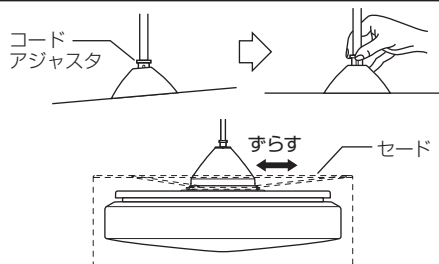
器具の傾き調整について

電源を切って、LEDやその周辺が冷めてから行ってください

●コードアジャスタが傾いていないか確認してください。

- ・コードアジャスタをつまみながら、器具が水平になるように調節してください。
- ・本体からコードを最後まで引き出している場合、コードを少し押し込んで、コードアジャスタがまっすぐになるように引き上げてください。

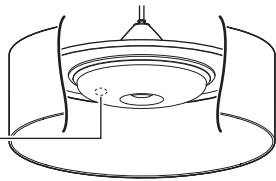
●セードをずらして調節してください。



各部のはたらき

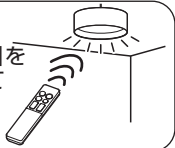
リモコン受信器 (本体)

リモコン受信部 (本体内部)
リモコンからの信号を受けます。
傷つけたり、汚したりしないでください。



リモコン

送信のしかた
必ず「リモコン送信部」を器具に向けて操作してください。



リモコン送信部
傷つけたり、汚したりしないでください。



■リモコン操作時の音を消す方法
壁スイッチをONにして30秒以内に下記の操作を行ってください。

- 1** リモコンのフタをスライドさせて「リモコン送信部」を器具に向ける
 - 2** リモコンの「普段ボタン」と「チャンネル確定ボタン」を同時に押す
- メモ** リモコン操作時の音を鳴らす場合は、上記の操作をもう一度行ってください。

全灯ボタン

LEDが昼光色約6200K※、明るさ100%で点灯
☞ 5ページ「あかりを切り替える」参照

普段ボタン

LEDが明暗ボタン、調色ボタンで調節した明るさ、光の色で点灯 (初期設定: 昼白色5000K※、明るさ約70%)
☞ 5ページ「あかりを切り替える」参照

調色ボタン

LEDの光の色を白い色から暖かい色に連続で調節
☞ 5ページ「あかりを切り替える」参照

おやすみタイマーボタン

☞ 7ページ「おやすみタイマーの使いかた」参照

チャンネルスイッチ

操作する器具のチャンネル (1~3) を設定
☞ 6ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照

消灯ボタン

常夜灯ボタン (蓄光)

常夜灯が明暗ボタンで調節した明るさで点灯 (初期設定: 明るさ100%)
☉ 太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。
☞ 6ページ「常夜灯を点灯する」参照

明暗ボタン

LED (100%~約5%)、常夜灯 (6段階) の明るさを調節
☞ 5ページ「あかりを切り替える」参照
6ページ「常夜灯を点灯する」参照

チャンネル確定ボタン

チャンネル (1~3) の設定を確定
☞ 6ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照

フタ

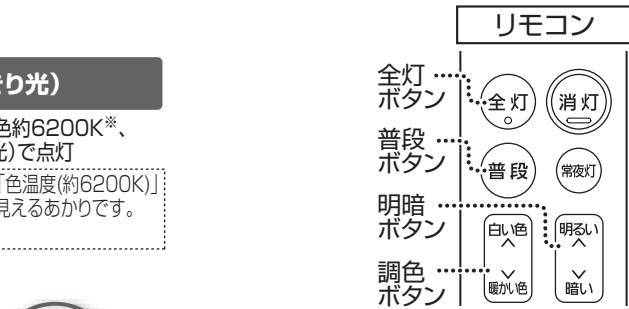
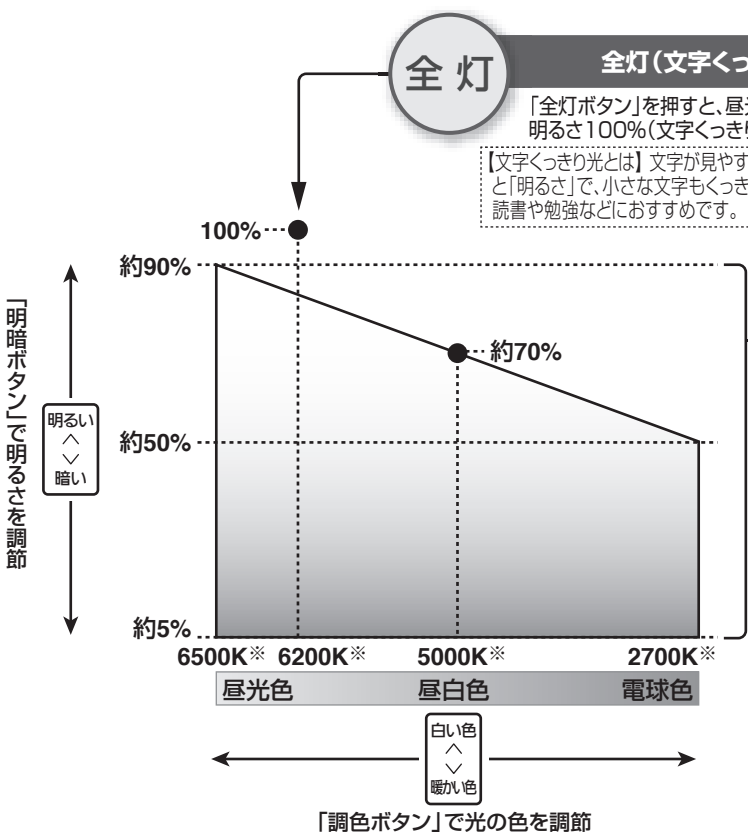
フタをスライドさせて、チャンネル切替を行います。

あかりをつける

あかりを切り替える

壁スイッチはONの状態にしてください

リモコンの「普段ボタン」、「全灯ボタン」であかりの切り替えができます。リモコンの「明暗ボタン」、「調色ボタン」で明るさ、光の色を調節できます。



■普段のあかりを調光、調色して記憶させる

- 1** リモコンの「普段ボタン」を押してLEDを点灯させる
 - 2** リモコンの「明暗ボタン」「調色ボタン」で明るさ、光の色を調節する
- ➡ 記憶



メモ ●LEDの明るさ、光の色を調節すると、その都度記憶します。
●「全灯ボタン」を押して、上記手順2の操作をした場合も「普段ボタン」に記憶します。

※: K (ケルビン) とは、色温度の単位で光の色を数値化したものです。

あかりをつける (つづき)

常夜灯を点灯する

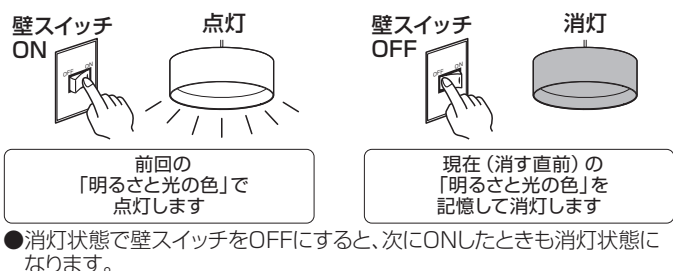
常夜灯点灯時に調光操作を行うと、その明るさを記憶します。

- 1  リモコンの「常夜灯ボタン」を押し、常夜灯を点灯させる
- 2  リモコンの「明暗ボタン」で常夜灯の明るさを調節する
▶ 記憶

- メモ**
- 6段階の明るさを調節できます。
 - 再び左記の操作を行うまでは、記憶した明るさで点灯します。
 - 常夜灯は調色できません。

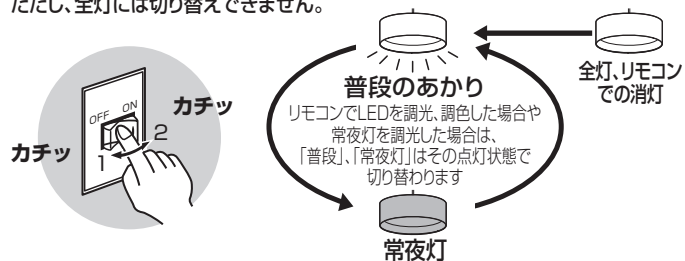
壁スイッチで照明器具を操作する

■ 点灯・消灯する



■ 点灯状態を切り替える

壁スイッチを素早く(約1秒以内)OFF→ONすると点灯状態が切り替わります。ただし、全灯には切り替えできません。



リモコンの便利な使いかた

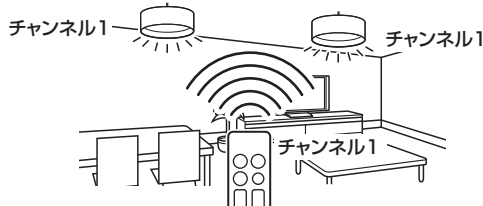
複数のリモコン照明器具を操作する

照明器具のチャンネルを変更できます

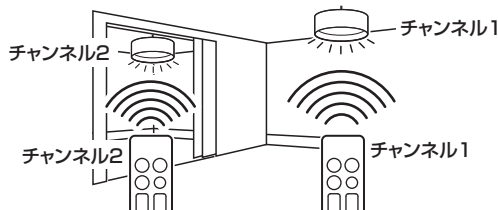
リモコンのチャンネルを切り替えると、1台のリモコンで複数の器具が操作できます。また、リモコンで器具を操作できない時は、チャンネル設定が正しくない場合があります。

チャンネル設定でできること

- 複数の器具を同時に点灯できます。
◎ 器具間の距離やリモコン操作の方向により、同時に点灯しないことがあります。
(例) 一部屋に2台のリモコン照明器具がある場合



- 近くの器具を別々に点灯できます。
(例) 隣室にもリモコン照明器具がある場合



- 1 壁スイッチ ON
- 2 フタをスライドさせる
おやすみ 30分
チャンネル 確定
1 2 3
チャンネル スイッチ
フタ
- 3 リモコンの「リモコン送信部」を器具に向けて
- 4 リモコンの「チャンネル確定ボタン」を押す
チャンネル 確定ボタン
おやすみ 30分
チャンネル 確定
1 2 3
チャンネル
→「ピピーッ」と音がして設定完了

- メモ** 本製品以外の照明を操作する場合は、チャンネル設定方法が異なります。ご使用の照明器具の取扱説明書をご覧ください。
※ 1: 周囲のリモコン照明器具が壁スイッチONの場合、その器具もチャンネルが切り替わることがあります。

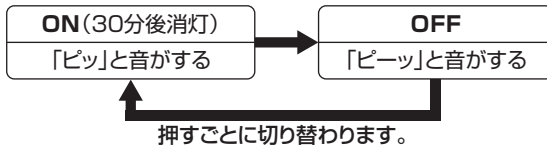
おやすみタイマーの使いかた

おやすみタイマーをONにすると、30分後に自動消灯を行います。

■おやすみタイマーをOFF/ONにする

おやすみ
30分

リモコンのフタをスライドさせて「リモコン送信部」を器具に向け、リモコンの「おやすみタイマーボタン」を押す



メモ

●リモコンでの消灯時でも、「おやすみタイマー」は、ONされます。(壁スイッチがOFFの場合は、「おやすみタイマー」はONされません。)
「おやすみタイマー」がONのまま点灯させた場合、「おやすみタイマー」をONにした30分後に消灯します。

故障かな?と思ったら

下表に従って点検してください

現象	考えられる原因	処置	参照ページ
点灯しない	壁スイッチがOFFになっている または、リモコンで消灯にして 壁スイッチをOFFにしていた	壁スイッチをONにする、または、 壁スイッチを素早く OFF→ONにする	6ページ ④「壁スイッチで照明器具を 操作する」
勝手に点灯する	非常に短い停電などにより壁スイッチ 機能がはたらき、点灯状態が切り替わ った可能性がある	壁スイッチをOFFにする リモコンもしくは壁スイッチ操作で 点灯モードを切り替える	— ④ 5~6ページ 「あかりをつける」
勝手に消灯する	「おやすみタイマー」がONになっていた	「おやすみタイマー」をOFFにする (「おやすみタイマー」で消灯すると 「おやすみタイマー」はOFFされます)	7ページ ④「おやすみタイマーの使いかた」
リモコンで操作 できない	リモコンの電池が正しく入っていない	リモコンの電池を正しく入れる	④ 2ページ
	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する	④「各部のなまえと付属部品」
	リモコンと照明器具のチャンネルが 合っていない	リモコンのチャンネルを変更して 操作する	④ 6ページ 「複数のリモコン照明器具を操作する」
他の機器(例えば、スマートフォン・タブレット、 3Dテレビなど)からでる赤外線の影響により、 リモコンが反応しにくくなっている	他の機器を照明器具から離す、 照明器具に対する向きを変える、 または電源を切る	—	—
調光、調色操作が できない	「全灯」、「普段」以外のモードになっている	リモコンもしくは壁スイッチ操作で 「普段」に切り替える	④ 5~6ページ 「あかりをつける」
リモコン操作時に ちらつく	調光、調色動作をしている	調光、調色(下限付近)動作時、ちらつく場合がありますが異常ではありません。 調光、調色動作が終わるとちらつきも止まります。	—
点灯状態が 勝手に切り替わる	電子ブロックが異常動作状態になっている	壁スイッチをONにして30秒以内に 下記の①~③の操作を行ってください。 ①リモコンの「フタ」をスライドさせる ②「リモコン送信部」を器具に向ける ③リモコンの「チャンネル確定ボタン」 と「消灯ボタン」を同時に押す (「ピッ」と音がして、常夜灯が点灯 します。) ●この操作を行うと、器具の初期設 定に戻りますので、下欄の「上記の 処置を行っても現象が続く場合」の ②を行ってください。 また、記憶させていた普段のあかり、 常夜灯の点灯状態も初期設定に戻り ますので、設定をしておいてください。	④ ① リモコンのフタをスライドさせる ④ ② リモコン送信部を器具に向ける ④ ③ 同時に押す
「ピピピピピッ」と 音がした後に、「消灯」する	電子ブロックが故障している	電源を切り、ご購入の販売店、工事店、別紙お客様ご相談窓口にご相談ください	—

上記の処置を行っても
現象が続く場合

- ①電源をいったん切り、約20秒以上経ってから再び電源を入れる
- ②器具のチャンネルを変更する ④ 6ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照

●上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、ご購入の販売店、工事店、別紙お客様ご相談窓口にご相談ください。

ご使用上に関するお知らせ

故障や異常ではありません

【器具自体の留意点】

- 必ず壁スイッチを設けてください。
 - ・点灯に異常が発生したとき、リセット操作に壁スイッチが必要です。
 - ・長期使用しないときや、お手入れの際に電源を切ることができます。
 - ・リモコン送信部の電池が消耗した場合やリモコン送信器を紛失した場合に点灯消灯ができます。
- 点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
- 停電時、停電復帰時などで予期せぬ非常に短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わる場合があります。長時間使わないときは、壁スイッチをOFFしてください。
- 壁スイッチがONの場合、消灯時も待機時消費電力を消費しています。
- LED、常夜灯にはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- LED光源は、通常のランプのようにお客様自身でのお取り替えはできません。

【周囲の影響】

- 器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
- 3Dテレビ用などの特殊なメガネをかけて点灯している照明器具を見た場合、縞模様やちらつきが見える場合があります。
- 他の機器(例えば、スマートフォン・タブレット、3Dテレビなど)からでる赤外線の影響により、リモコンが反応しにくい場合があります。
- 点灯中にビデオカメラを使用すると、ビデオカメラのモニターや録画画像に縞模様が入る場合があります。

お手入れについて

安全のため、電源を切ってから行ってください

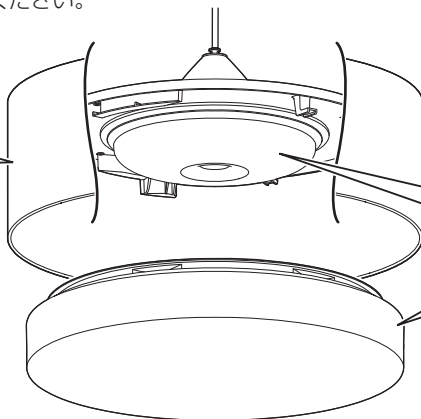
- 明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1回程度）に清掃してください。
- 下カバーの外しかたは
4ページ **7**「下カバーの外しかた」をご参照ください。

セード(布製)のお手入れ

- 汚れは、やわらかいハケやブラシで掃除してください。

確認

水を含んだ布やシンナー・ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。破れ、変色、破損の原因となります。



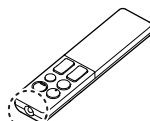
本体・下カバーのお手入れ

- 汚れは、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

確認

シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

- リモコンのリモコン送信部は定期的にお手入れを行ってください。ほこりなどにより汚れるとリモコンが効きにくくなります。
 - 電池は半年を目安に取り替えてください。
- ※付属の乾電池は、最初を使用するために用意しているもので、半年に満たないうちに消耗する場合があります。



リモコン送信部

仕様

保証書または下カバーのラベルをご参照していただき、品番にチェックをしてください。

品番		使用電圧	周波数	消費電力		入力電流
セード: ページュ	セード: ダークブラウン			32.0W	1W以下	
<input type="checkbox"/> LGBZ6113K	<input type="checkbox"/> LGBZ6115K	AC100V	50/60Hz 共用	41.3W	（リモコンOFF時 （待機時状態） 常夜灯のみ 約1W）	0.33A
<input type="checkbox"/> LGBZ8113K	<input type="checkbox"/> LGBZ8115K					

- LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。（照明器具の寿命とは異なります。）光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

保証とアフターサービス

よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは…

- まず、お買い上げの販売店へご相談ください
- ▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名
電話 () -
お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは…

まず電源を切って、お買い上げ日と以下の内容をご連絡ください。

- 製品名 住宅用照明器具
- 品番 上記「仕様」をご参照ください。
- 故障の状況 できるだけ具体的に

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし、LED電源・LEDユニットについては5年間です。保証書が必要な場合は、当社代理店または当社営業所へお申し出ください。

※保証の例外 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

補修用性能部品の保有期間 **6年**

※当社はこの照明器具の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。

- 保証期間中は、保証の規定に従って出張修理いたします。
 - 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご希望により修理させていただきます。
*修理料金は次の内容で構成されています。
- | | |
|-----|------------------|
| 技術料 | 診断・修理・調整・点検などの費用 |
| 部品代 | 部品および補助材料代 |
| 出張料 | 技術者を派遣する費用 |

- アフターサービスについてのご不明な点や修理に関するご相談は、お買い上げの販売店または別紙お客様ご相談窓口にお問い合わせください。

パナソニック株式会社 ライティング事業部

〒571-8686 大阪府門真市門真1048 © Panasonic Corporation 2021

LGBZ6113K - T3A

N0421 - 00